

交換留学（派遣）帰国報告書

皆さんが無事留学を終えられたことを嬉しく思います。本報告書は以下の目的のために使用されます。

- ① 皆さんの留学に関する状況を把握するための資料です。
- ② 今後、交換留学プログラムを改善するための重要な資料となります。
- ③ 留学を考えている後輩達のための有益な資料となります。留学経験を共有するために、ぜひご協力ください。

本報告書は帰国後1ヶ月以内に所属部局教務係に提出してください。

***各項目のスペースが足りない場合は、適宜スペースを足して記入してください。**

本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、E-mailは公開されません。

氏名：

学籍番号：

e-mail：

留学先大学：ウィーン経済大学

留学先での所属学部・研究科：経営

留学先での在籍身分：留学生

留学期間：2018年 9月－2019年 6月

神戸大学での所属学部・研究科： 経営学部

学年（出発時）：3回生

本報告書記入日：2019年 6月 22日

1. 留学先大学について

1-1. 留学先大学の「学期」について

学年開始月日： 10月 1日

学年終了月日： 6月 30日

学期：

① 10月 1日～ 1月 31日

② 3月 1日～ 6月 30日

1-2. 留学先大学の特長、人気のある分野等

少人数クラスで、細分化された専門性の高い授業が多数。基本的にアクティブラーニングで、授業内の発言・プレゼン・グループワーク等々が、評価の大半を占める。勉強する最適な環境が整っている。広い自習ラウンジ、充実した図書館、飲食店、自販機などの長時間自習の可能な条件がそろっており、更に日曜以外は7:00～22:00まで開館している。また教授陣も、実務家上がりの方が多く、アカデミックにより過ぎず、より実践的な内容を学べた気がする。

1-3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

上述のとおり、クラスサイズは20～30人程度と少人数。したがって、日本でいうゼミのようなスタイルで授業内ディスカッション、グループワーク、プレゼンをベースに進むため、評価基準の50%近くはこれらで、残りがEXAMといったクラスが多い。現地学生はかなり優秀で、かなり勉強もする。グループワークやプレゼン等で彼らに、自信の付加価値を示すのはかなり困難であった。

1-4. 履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 ／週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習, 復習, テスト等についてアドバイスも含めて教えてください。
1	International Accounting (IFRS)	Magdalena Kuntner	3.5	6	30	国際会計基準を実際の仕訳ベースで学ぶ。あまり難易度自体は高くないが、JGAAP、USGAAP等を知っておくと、比較しながら学べるためより効率は良いと思う。実際にクラス内で「JGAAP だとどう?」と聞かれることもあった。
2	Management Accounting	Christian Riegler	4.5	6	25	管理会計。毎回の授業を5人1組のグループで、学生が授業し、その後教授が練習問題を解きながら解説していくスタイル。難解な本をかみ砕き、他学生が理解できるように発表するのはかなりプレッシャーであったが、内容は有意義なものであった。
3	Principles of Strategic and Financial Controlling	Stephanie Messner	3	6	20	実務家の教授から、外資系企業における「コントローラー」の職務内容を、実践ベースで学習。個人的には一番ためになった授業。前半でフレームワーク等の戦略、後半で財務諸表分析等を用いた分析を学習。戦略の正当性や進捗を数値から評価するといったコースカリキュラム。
4	Risk Management and Insurance	Erwin Eszler	3	6	25	リスクマネジメントを実際の保険業界とリンク付けながら学習。オールドスクールな教授で、3回のテストのみで評価であるが、試験範囲がスライド1000枚以上で、なかなかの根気がいる。
5	Corporate Finance	Christian Kreidl	3.5	6	25	神大開講のコーポレートファイナンスの応用レベル。おそらくファイナンス学習経験がないとキャッチアップは困難。テスト自体は簡単であったが、同時期提出のケース課題が、かなり難しく、数週間の準備を要した。
6	International Business Strategy	Alexander Mohr	4	6	30	パワポのスライドをベースに、教授が理論と実例を交えて説明していく講義スタイルの授業。最終のプレゼンテーションがかなりハード。また Final Exam もカバー範囲がひろい上に論述形式であり、準備にかなりの時間を要した。
7	International Marketing and Management I	Elisabeth Götz	3	6	30	クラス内ディスカッションとプレゼンが主な授業。3回のプレゼン、Mid-term Exam, Final Exam とワーク自体は大変であるが、学習内容は興味深く、個人的にはとても面白かった。

8	European Tax Law	Alexander Rust	3	6	30	現地学生へ向けた法学部開講の授業で、主に EU 間 or EU と EU 外国との取引等における税法を学習。周りは法学部の学生しかいなく、前提知識の差で、キャッチアップは困難。評価の 80% を占めるテストは、英語で書かれた法典を解読し、それに基づいた論理的な見解を、提示されたケース課題に解答しないとイケない。現地学生でも不合格多数の難関クラス。
9						
10						

1-5. 留学先大学のサポートについて記入してください。

語学面でのサポート：

・タンデムラーニングという、ランゲージエクステンションのマッチングを行ってくれる。（日本語⇄ドイツ語/英語）

勉学面でのサポート：

・かなりのキャパシティの自習できるスペースがある。また朝は7時から夜の22:00まで開館しているため、次週に便利。

精神面でのサポート：

精神面でやむことはなかったので不明。

住居・生活面でのサポート：

主に、OeAD という管理会社がサポート。個人的にはまあまあ満足レベル

課外活動のサポート：

特になし。

1-6. 神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか。

はい いいえ

2. 住居

2-1. 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。（気をつけること等）

・トラブル回避のためにも、大学紹介の斡旋業者である OeAD の物件にすべし。基本ルームシェアをすることになると思うが、同居人の当たりはずれがあるのはしょうがない。パーティが好きな人が集まる寮、アジア人が多い寮等、結構特色がわかれたりしていることもあるため、事前に自身に適した寮を選択することは、身体的・精神的ケアの面においても重要。

3. 生活について

3-1. 保険について

どのような種類の保険に加入したかを教えてください。

学研の保険（日本）と現地の保険（オーストリア）

また、現地で加入した保険があれば、ご記入ください。

WGKK（50ユーロ/月）

3-2. PC（パソコン）について

PCの保有の状況： 日本から持参した 現地で購入した 保有しなかった

住居内のインターネットへの接続の可否： 接続できた 接続できなかった

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

無料

大学でのPCの使用の可否： 使用できた 使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や日本語環境等について記入してください。

図書館、ドイツ語 OR 英語

3-3. 医療について

留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。

なし

健康管理あるいは衛生面について特に注意すべきこと。

酒、食生活による体調不良。生もの（卵等）。寒さ。

3-4. 銀行口座について

留学先でお金を引き出せるように、どのように準備・手続きしましたか。

（現地で口座開設、キャッシュパスポート利用等）

キャッシュパス+現地銀行口座（クレカ+デビットカード付き）

3-5. 異文化体験について

留学先の文化・社会（習慣の違い等）について記入してください。

多すぎて、1つのみ取り上げるとすると、飲酒の文化。皆、飲酒量がけた違いで、大学内にカクテルスタンド等が設置されるほど。グループワークの際、自習室でビールを飲みながらパワポを作成したのは、日本じゃ考えられない。社会も酒に関して寛容で、例えば1L以内なら飲酒運転可能であったり、16歳から飲酒可であるなど。

大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトをもちましたか。

そこそこ（日本語学科生、タンデム、そのお友達）

課外活動（ボランティア、インターンシップ、アルバイト等）をしましたか。

インターンシップ

留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。（安全性、外国人への態度等）

綺麗。治安が良い。住むには最高の都市。物価も法外に高いわけではない。

3-6. 留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、教えてください。

ボスキャリ、ロンキャリ、東キャリ

4. 経費について

4-1. 留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

航空運賃：往復 20 万円ほど

住居費（月額×留学月数）：75000*10

食費（月額×留学月数）：不明。

保険料：学研：70000 円/年 WGKK：52 ユーロ/月

その他：交際費

計： 2,000,000 円（留学期間全体の費用）

4-2. 奨学金を受給していた場合、奨学金についてご記入ください。

（財団等名） JASSO , 80,000 円/月

その他（渡航費等の支給） 円

5. アドバイス及び感想

5-1. 現地で参考となった留学先国の情報（出版物、ホームページ）を記入してください。

大使館、個人ブログ、YouTube

5-2. 日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。

就活グッズ（WEB テ対策本、履歴書、スーツ等々）、日本食関連、輪ゴム、

5-3. 留学することによって得られたことについて記入してください。

（語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等）

※ 語学力については、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。

留学前：(TOEFL 等試験の名前) 点→帰国後（ ） 点

5-4. 振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。

イタリアでの盗難

5-5. 留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。

確実に事前に知らせるべき情報が、帰国寸前に伝えられた点。

1. 単位申請方法：授業で使用したレジュメ、配布資料などすべての関連資料の提出が必要と帰国寸前に告げられ、半年以上前に履修した授業の資料をそろえるのに骨が折れた。

2. JASSO 受給期間：テスト期間最終日（学期最終日）までが受給期間と告げられていたが、急きょ帰国寸前に「自分の受けるテストの最終日」と言われ1カ月分奨学金の支給が減らされた。学期最終日まで家賃や保険費を払わないといけないなか、この80,000円の減はかなりきつかった。テストの日は、授業により全く異なり、事前に知らされていれば、テスト日の早くない授業を取るなどの調整ができたはず。

5-6. 本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。

薦める。専門性のブラッシュアップ、学習成長意欲の向上、など費用以上の効果を得られたと思うため。また留

学以前にここまで入念に事前プログラムとして、準備させてもらえる交換留学制度はほとんどない。

5-7. 留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。

（5段階評価，5が最も高い評価，1が最も低い評価）

- ・留学先大学の授業の「質」（内容，レベル等）に満足しましたか： 5
- ・留学先大学の学生サービスに満足しましたか： 5
- ・留学先の住み心地（安全性等）に満足しましたか： 5
- ・住居の「質」（広さ，料金等）に満足しましたか： 4
- ・全体として留学に係る費用は安かったと思い，満足しましたか： 2
- ・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか： 4
- ・留学全体の総合的な評価： 5

5-8. その他 自由に記入してください。

6. 留学経験の共有について

あなた自身の写真や大学キャンパス等の写真があれば，ぜひ報告書に添付して送ってください。
(デジタル画像をお願いします。)

6-1. 神戸大学では所属部局教務係及び国際交流課にて，留学を考えている学生のために報告書を閲覧できるように保管します。あなたは，本報告書を閲覧資料とすることに同意しますか。（あなたの氏名，学籍番号，メールアドレスは公開されません。）

*担当部署（所属部局又は国際交流課）が本報告書の原本を保管します。あなたが閲覧資料とすることに同意しない場合であっても，あなたの状況等を把握するために及び本プログラムを改善するために，学内の関係部署に転送することがあります。

はい いいえ

6-2. あなたの本報告書の一部を引用して，本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか。

はい いいえ

6-3. もし写真を提出する場合，あなたの写真を報告書とともに閲覧資料とすることに同意しますか。

はい いいえ

6-4. もし写真を提出する場合，あなたの写真を本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか。

はい いいえ

6-5. 国際教育総合センターが実施する「海外留学フェア」にご協力いただけますか。（留学体験を発表するなど）

*ご協力いただける場合，後日，留学生センター教員よりあなたに連絡することがあります。

はい いいえ

ご協力ありがとうございました。本報告書は大変有益な資料となります。

本報告書の提出先は以下のとおりです。**原則として e-mail で提出してください。**もし，e-mail を使用できない場合は，郵送又はファックスで提出願います。

経営学研究科学部・大学院教務係 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 2-1
bkyomu@b.kobe-u.ac.jp